



講師のアドバイスを受けて大ジャンプ（走り幅跳び）

スポーツ技術の向上を目指したレベルアップ陸上競技教室および指導者講習会が6月14日、庄原市上野総合公園陸上競技場で開催されました。今年で7回目となるこの教室に、市内の小学生など38人が参加。参加者は競技種目（短距離走・長距離走・ハードル走・走り幅跳び）に分かれ、元中国電力陸上競技部の沖野剛久さん、五十嵐範曉さん、一般財団法人広島陸上競技協会専務理事の東川安雄さんなど17人の講師から基本動作や練習法などを学び、参加者は楽しくも真剣に取り組んでいました。

昨年度策定した庄原市観光振興計画をオール庄原で進め、観光産業を振興していくため、市が発起人となり「庄原観光いちばん協議会」を6月6日に設立しました。この協議会に、市や観光協会、商工会議所、商工会、道の駅等連絡協議会など10団体が参加。観光振興事業の連携を図るほか、専門部会を設置し、花と緑のまちづくり事業や庄原市の逸品事業などに取り組みます。設立総会で会長に就任した木山耕三市長は「魅力ある観光地づくりを形成するには、観光関係者の連携・協働が不可欠。オール庄原で力を合わせて、観光振興による地域経済の活性化を実現しよう」と呼びかけました。



設立総会であいさつする木山市長（左端）



西城紫水高校の活性化協議会の様子

商工観光課 観光推進体制を充実 庄原観光いちばん協議会設立

短距離走に参加した荒木康助くん（美古登小5年）は「優しくわかりやすく教えてもらい、楽しかった。来週の記録会で自己新記録を出したい」と話していました。本年度、レベルアップスポーツ教室は、9月にフットサル教室、10月にバレーボール教室、1月にスキー教室を行う予定です。

平成25年度に策定された広島県教育委員会の「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」を受け、統廃合などの検討対象となった西城紫水高校が5月13日、東城高校が5月27日にそれぞれ学校活性化地域協議会を開催しました。この協議会は、2校の今後の活性化策を検討するために、それぞれ学校関係者、市行政、地域で組織し設立。第1回の会議では学校の現状・課題の確認と、学校に期待される役割、活性化の方向性について協議が行われました。

協議の中では、地域の将来を担う人材育成の場である地元高校の必要性について再確認するとともに、活性化の具体案については、今後、実務者会議で検討し、全体の協議会へ諮っていくことを確認しました。次回の協議会は9月に開催される予定です。会議の内容は、各校のホームページで確認できます。

生涯学習課

陸上競技のトップアスリートに学ぶ レベルアップスポーツ教室

パンフレットを手に取った観光客は「エリアごとに周遊ルートや、おすすめのお土産が分かりやすく紹介



自然の豊かさを表現したポスター

パンフレット、ポスターともに、関係する各観光協会、道の駅などの観光施設へ配布しています。パンフレットは、比婆道後帝釈国定公園連携事業実行委員会各4市町（庄原市、神石高原町、島根県奥出雲町、鳥取県日南町）スポットによる組写真を使用し作成。4市町に広がる広大な本国定公園の魅力伝えていきます。



持ち歩きに便利なパンフレット

商工観光課

比婆道後帝釈国定公園の魅力を発信 パンフレット・ポスター作成

市は、比婆道後帝釈国定公園の知名度アップや、来訪者の増加を目的に、関係市町と連携し、パンフレットとポスターを作成しました。パンフレット（A5版）は、エリア（帝釈峡、比婆山、道後山、吾妻山、船通山）ごとに、散策・登山の周遊ルート、パワースポット、食べる、買う、泊まるスポットを紹介した、持ち歩き用のパンフレットとなっています。ポスター（B2版）は、比婆道後帝釈国定公園連携事業実行委員会各4市町（庄原市、神石高原町、島根県奥出雲町、鳥取県日南町）スポットによる組写真を使用し作成。4市町に広がる広大な本国定公園の魅力伝えていきます。

生涯学習課 情報政策

芸備線沿線の秘話などを解説 庄原市田園文化センター講演会



講演する武田祐三さん

「戦争と人と文学」芸備線物語」と題した講演会を5月31日、田園文化センターで開催し、会場に訪れた市民など約120人が熱心に耳を傾けました。講師の元庄原市文化財保護審議会会長で元田園文化センター館長の武田祐三さんが、第二次世界大戦のころの芸備線沿線と関わりのある若者たちの人生や秘話などを解説。終戦間際、広島市にあった広島陸軍幼年学校が東小學校や庄原格致高校の講堂に疎開していた様子も説明し、その中に後に俳優とな

る故藤岡琢也さんもいたという逸話も紹介し、来場者は大いに関心を寄せていました。また、講演会の開催にあわせ、ロビーでは「広報しようばら」で隔月掲載中の「乗りんさい芸備線」をパネルで展示しました。「乗りんさい芸備線」は、市民の皆さんの投稿で作られるコーナーです。写真とともに芸備線の思いやエピソードを添えてぜひご投稿ください。お待ちしております。



「乗りんさい芸備線」パネル展示の様子

教育総務課

地元の高校存続に向け協議会設立 西城紫水高校・東城高校の活性化策を協議

係者、市行政、地域で組織し設立。第1回の会議では学校の現状・課題の確認と、学校に期待される役割、活性化の方向性について協議が行われました。